



明日、
移住する
あなたへ

photo by Atsushi Okuyama



「自由な人生」という響きは
いつだって美しいし、
その通りだと信じてきた。
子供の頃から。
でも、少し分別がつくと、
そうでもないことに誰もが気づく。
親を選ぶことはできないし、
性別や生まれる時代にも
選択肢はない。



自らが選択した結果であるはずの
仕事だって思い通りではない。
なるほど、自由な人生を
絡め取る要因はいくらでも、
僕らの周りには存在する。
ただ、それはそういうもの。
それが人生とする考えもある。
与えられたなかで、より良き道を探す。
そここそが人生と。



究極的にはそういうものだと思う。
でも、どうだろう？
究極の道を探すその前に
人生にもう少し自由を
与えてやってみようだろうか。
生まれ変わるほどの大きな自由は
もちろん与えられない。
でも、たとえば、明日、
見知らぬ土地に移住するという
自由はどうだろう。



『Country Songs』2006より

それを、少しずつ時間をかけて
作っていく。
そんな自由はどうだろうか。
自由ってものはたぶん、道具だ。
人が自分として生きるための道具。
だとしたら、移住は、あなたの
とても優れた道具になるだろう。
明日、移住するあなたへ。
朝目覚めたら、あなたは自由の
真ん中において、新しいあなたの
人生を歩き出す。



あなたが自分の意思で
生きる土地を選ぶ。
あなたがあなたのまま
そこで生きる人や風景と
関わっていく。
あなたが見知らぬ土地で
あなたと認められていく。
そして、あなたは、
あなたの人生を生きていく。